

必ず施工前にこの取付説明を読み正しく施工してください。

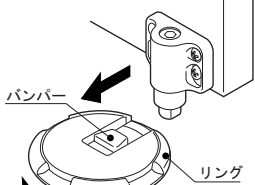
AC-774/784ドアキャッチャー施工・取付説明書

(本説明書は取付後も破棄せず、ワックスカバーと共にご使用者にお渡しください。)

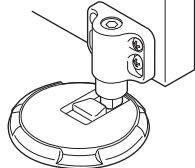
設置条件：床と扉下部の隙間が10～20mmまでの対応。

特徴・動作 (AC774)

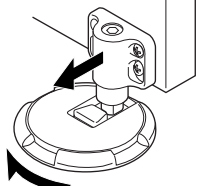
① 扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しキャッチ状態になります。



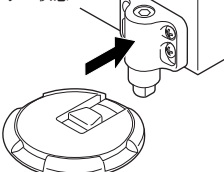
② キャッチ状態



③ もう一度扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しフリー状態になります。



④ フリー状態



※扉がしなって押しづらい時は足で軽く押しと楽に作動させることができます。

⚠ 注意

ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で押し付けるようにご使用ください。

① 取付けの位置決め



本体を取付ける位置は、ストライクが扉の端から10～100mmの間の位置になるように設置してください。

また、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。

⚠ 取付位置注意

ドアキャッチャーをヒンジ側方向に取付けたり、壁際ギリギリの位置などに取付けますと扉のレバーハンドルが壁に接触することがありますので扉との余裕を見て検証しながら位置を決めてください。



③ 本体の取付け

ストライクの付いた扉を動かし、ストライク下部の突起がベースのバンパーに当たる位置で、取付け位置を決め、ベースをビスにて取付けます。

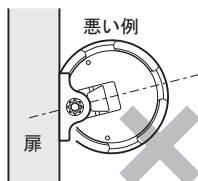
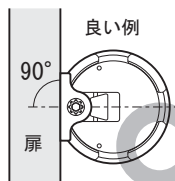
次にリングをはめ、カバーを(図1)に従ってはめてください。

※厚み11mm以上の直貼り床材使用の際は直にビス止めしてください。

※直貼りで厚み11mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。(裏面参照)

※カーペット敷きには専用(別売)のカーペットベースをご使用ください。

⚠ 注意 本体は扉に垂直に取付けてください。



⚠ 注意

フローリングの継ぎ目は踏まないよう、取付けてください。止むをえずフローリングの継ぎ目を踏んで取付ける場合は取付けビスを半回転くらい緩めて調整してください。(緩ませすぎにご注意ください。)



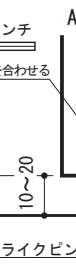
フローリングの継ぎ目

② ストライクの取付け

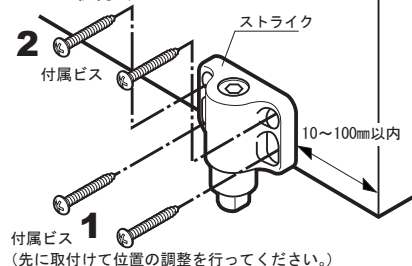
取付位置が決まりましたら、ストライクの下端部を扉の端面に合わせての下端の長穴からビスを取付け、平行を出した後上段のビスを取付けてください。(AC784の場合は、ベースからマイナスドライバー等でロックを解除し、ストライク部を外してから取付けてください。)

ストライクの調整について

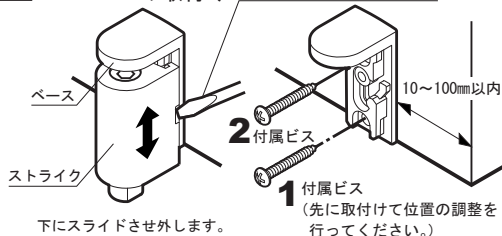
ストライク上部の穴に付属の六角レンチを差し込んで時計回りに押し回しますと、ストライクピンを下方へ出すことができます。床からの高さを3.5～5mmに調整してください。(AC784の場合はレンチで調整後、ベースに取付けてください。)



AC774の取付け



AC784の取付け



⚠ ストライクピンの向き

ストライクピンは縦方向にセットします。横方向に取付けると、扉をキャッチした際に遊びが大きくなります。(横方向の平面はレンチなどで高さ調整する為のものです。)



⚠ 注意

ストライクは垂直に取付けてください。



④ 取付後の確認と養生

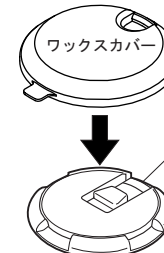
取付けが完了しましたら必ず動作確認を行ってください。

⚠ 注意

取付け完了後、リングが軽く回るか確認してください。軽く回らない場合は付属ビスを半回転位緩めると、改善出来ます。(緩ませすぎに注意)

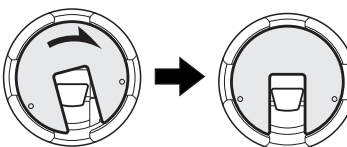
⚠ 注意

確認が終わりましたら付属のワックスカバーを本体にかぶせて養生してください。



※正常に作動しない場合、裏面を参照の上対処してください。

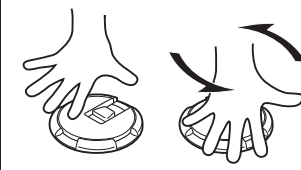
カバーの取付け方



カバーは図の位置に置き、手のひら等で右に回転させ完了します。外す場合はこの逆の操作を行ってください。

図1

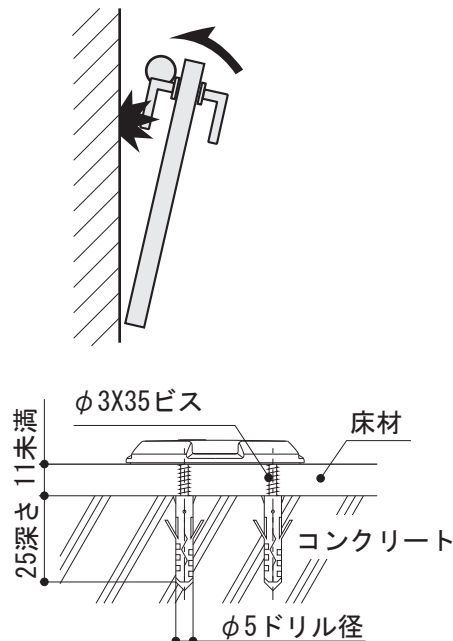
カバーは手のひらで押しつけ回すと比較的楽に取外しができます。



⚠ 注意 電動ドライバーを使用する場合は最後まで締めこまず、手動ドライバーにて軽く締めてください。

⚠ 取付けに関するご注意

- ドアキャッチャーを取付ける際は、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。
扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがあります。
- 本製品はフローリング床に木ビスにて取付ける仕様となっています。
カーペット面には別売のアダプターをご用意ください。
- フローリングの継ぎ目をまたぐ位置に取付けないでください。
- 直貼りでt11mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。
- コンクリート面直付けやタイル面にはご使用できません。
- 屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
- 電動ドライバーでビス止めする場合は途中までとし、最後は必ず手動ドライバーにて締め込みを行ってください。

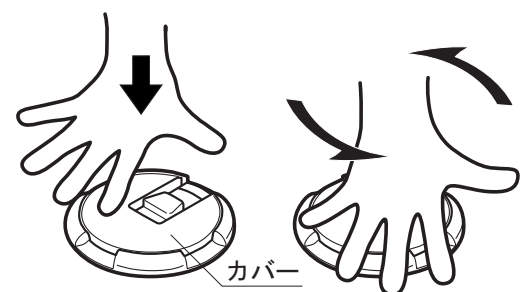


⚠ ご使用に関するご注意

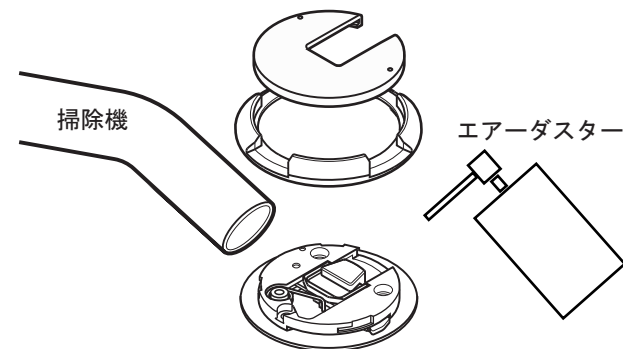
- 本製品施工後の耐荷重は押付方向40kgf、または(瞬間衝撃60Kg・m/s)引き方向50kgfです。それ以上の荷重を加えますと、ストライクのピンが抜けてしまい、扉(ガラス戸)等が破損してケガをすおそれがあります。(60Kg・m/s=12才以下の子供約25Kgの全身衝突による運動量としています。)
- 本製品は必要以上の負荷が掛かると破損防止の為、ロックが外れるように設計されています。したがって強風時、玄関や窓からの風等でロックが外れる場合がありますので、ドアキャッチャーを使わず扉を閉めてください。
- 製品の上に乗ったり、タンスや椅子等の重量物を乗せないでください。破損の原因になります。
- 本体にワックスをかけないでください。又、床をワックスがけする際は、付属のワックスカバーを上からはめて養生してください。
ワックスカバーはワックスが完全に乾いてから外してください。
- ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で押し付けるようにご使用ください。

◎お手入れの仕方

- 定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。必要以上に強くこすらないでください。(キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水や水を中性洗剤で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ホコリや砂等により動きが悪くなった場合は、下図のようにカバーに手のひらを押し付け、強く押し込みながら時計と反対方向に15度回すと、フタが外れます。掃除後はシリコンプレーで注油してください。



ゴム手袋等をはめると回しやすくなります。
(15度以上は回さないでください。)



フタとリングを外したら、掃除機やエアードスター等でホコリ等を取り除いてください。
(バネのはずれに注意)

正常に作動しない場合のトラブル対応表

リングが回らない&回りにくい(通常リングは指で軽く回ります。硬いと思ったら調整願います。)	
①ワックスで可動部が固まっている。	●カバーを開け、リングを外して再度組付け、作動を確認します。 大抵は動くようになりますが、動かない場合は交換になります。 ※ワックスカバーを付けることにより防止できます。
②内部のスプリングがはずれている。 ※カバーを開けた状態で操作すると稀に起こります。 はずれたバネを元の位置に戻してから取付けてください。	●蓋を開け、スプリングを戻します。 ○正常な状態 ○バネが外れた状態 
③フローリングの継ぎ目をまたいで取付けられている。 ※本体が床の段差によりゆがんでいる事が考えられます。	●継ぎ目や段差を避けるか、取付けビスを半回転位緩めて調整してください。(緩ませすぎにご注意ください。) ●ビスの緩めによる調整で解決できなかった場合は別売のカーペットベースや重ねたテープセロテープ等を底部に敷き水平を出します。
④取付け時にホコリやゴミが入った。	●蓋を開け、掃除機やエアードスター等で清掃をしてください。 ※工期中はワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
⑤ストライクが戸当りのバンパー部に当たっていない。	●適正な位置に取付け直してください。(おもに下記の原因です。) 1. ストライクに対する本体の取付け位置がずれています 2. 扉に対する本体の取付け角度がずれています。 3. ストライクの高さが合っていない。 付属の六角レンチを使い高さを調整してください。
⑥カーペットに直付けしている。	●そのままカーペットに直付けはできません。 別売の専用カーペットベースをご使用ください。
リングが最後まで回りきらない(設置後ワックスカバーを付けず、リングが途中位置で長時間放置されていた場合に起こります。)	
①リングにテンションを与えるバネにクセが付いている。	●リングをゆっくり回し、「カチッ」と音がした所で止め、2時間以上放置して頂くと直ります。 ※設置後ワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
②バンパー部にホコリやゴミが入って戻りが悪い。	●蓋を開け、掃除機やエアードスター等で清掃をしてください。 ※工期中はワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
キャッチしたり、しなかったり安定しない(押し足りない時に起こります。)	
①扉がしなってしまい、レバーハンドルが壁に当たってしまっている。	●本体の取付け位置が適正ではありません。壁より離し、扉の戸先端面方向に寄せて取付けてください。(ストライクの取付け参照)
②壁にレバーハンドルが当たっている。	●本体の取付け位置が適正ではありません。壁より離して取付けてください。
③ストライクの取付け位置が合っていない。	●付属の六角レンチを使い、高さを調整してください。
作動時に異音がある(ゴミや砂等の侵入や変形により起こります。)	
①取付け時ホコリやゴミが入った。	●カバーを開け清掃をし、市販のシリコンプレー等で注油してください。
②床面がゆがんでいる。	●取付け場所を変えるか、取付けビスを半回転位緩めてください。 それでも駄目な場合は、重ねたテープセロテープ等を底部に敷き水平を出します。

●上記以外のトラブルがございましたら、無理な分解等はやめて販売店へご連絡ください。